

## 「大人になれなかった弟たちに…」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 (第1段落・2行目) 「そのころは小学校といわずに、国民学校といっていました」とあるが、「そのころ」とはいつのことか、本文から2つ抜き出して答えなさい。

問2 (第5段落・1行目) 母は「ヒロユキがおとなしいから助かる」と言っていたが、その理由を説明しているもので適切でないものを次の中から1つ選び○で囲みなさい。

ア：ヒロユキがおとなしいおかげで、戦時中の生活に必要な他の作業をすることができるから

イ：ヒロユキがおとなしいおかげで、あまり食べさせなくても平気だったから

ウ：ヒロユキがおとなしいおかげで、空襲が来てもスムーズに避難ができるから

エ：ヒロユキがおとなしいおかげで、避難するときに、まわりを気にしなくてもよかったから

問3 母はあまり食べませんでしたとあるが、それはなぜか、本文の言葉を使って15字以内で答えなさい。

問4 (第8段落・11行目) 「甘い甘い弟のミルクは、よだれが出るほど飲みたいものでした」とあるが、「甘い甘い」と繰り返しが使われていることによって、「僕」のどんな気持ちが読み取れるか、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：弟のミルクが、とても甘いということを訴える気持ち

イ：弟にはばかり甘いミルクがあって、うらめしく思う気持ち

ウ：他に甘いものがない中、ミルクに対する強いあこがれをもつ気持ち

エ：甘いミルクが自分を誘惑することが許せない気持ち



問5 母は、(第9段落・13行目)「ミルクはヒロユキのご飯だから。ヒロユキはそれしか食べられないのだから」と言っているが、母の気持ちを説明した次のうちから、適切でないものを2つ選び○で囲みなさい。

ア:「僕」や「妹」に、ミルクを飲むことをなんとか我慢して欲しい気持ち

イ:「僕」や「妹」に、甘いものをあげることができないことを悔しく思う気持ち

ウ:ヒロユキがミルクしか飲むことができないことに、いらだつ気持ち

エ:ミルクを飲みたがる「僕」や「妹」を、いやしいと思う気持ち

問6 (第7段落・7行目)「ミルクが一缶、それがヒロユキの大切な大切な食べ物でした…」とあるが、ヒロユキの食べ物はミルク以外になにが挙げられているか。本文から2つ抜き出して答えなさい。

問7 (第11段落・17行目)「僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです」とあるが、「それ」とはどんなことか、本文の言葉を使って20字以内で答えなさい。

問8 「それがヒロユキの大切な大切な食べ物でした…」 「ミルクを盗み飲みしてしまいました。それも、何回も…」 「…それなのに飲んでしまいました」と「…」が何度か使われているが、このような表現によって「僕」のどんな気持ちが読み取れるか、適切なものを次の中から2つ選び○で囲みなさい。

ア:ミルクを飲んでしまったことを、ほんとうは告白したくなかった気持ち

イ:どうしても甘いものが欲しかったので、ミルクを飲んでしまったことは仕方がないと思う気持ち

ウ:悪いことだと思っていたけれど、抑えることができなかった気持ち

エ:大切なミルクを飲んでしまったことを、深く申し訳なく思う気持ち



問9 (第11段落・2行目) 「…それなのに飲んでしまいました」とあるが、この「それなのに」から「僕」のどんな気持ちが読み取れるか、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：飲んではいけないと知っていたのに、飲んでしまったことを不思議に思う気持ち

イ：飲んではいけないと知っていたが、どうしても飲みたかったから仕方ないと  
言い訳する気持ち

ウ：飲んではいけないと知っていたのに、飲んでしまったことに対する深い悲しみ

エ：飲んではいけないと知っていたのに、飲まざるをえなかった自分をかわいそうに  
思う気持ち

問10 (第12段落・4行目) 「母が弟をおんぶして僕と三人で、しんせきのいる田舎へ出かけました」とあるが、何のために出かけたのか、本文の言葉を使って10字以内で答えなさい。

問11 (第12段落・8行目) 「母はそれを聞くなり、僕に帰ろうと言って、くるりと後ろを向いて帰りました」とあるが、母はどうしてそうしたのか、最も適切に説明しているものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：しんせきの人の冷たい言葉にがっかりし、相談する気持ちがなくなったから

イ：食べ物がないことを知り、そこにいる必要がなくなったから

ウ：しんせきの人も困っていたので、迷惑をかけてはいけないと思ったから

エ：しんせきの人が助けてくれないと知り、早く他のしんせきのところへ向かわなくては  
いけないと思ったから

問12 (第13段落・10行目) 「僕たち子供を必死で守ってくれる母の顔」を、「僕」はどんな顔だと例えているか。本文の言葉を抜き出して、すべて5字以内で3つ答えなさい。



問13 「強い顔」とあるが、この表現から、母のどんな思いが読み取れるか、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：自分の力で必ず子供を守ろうと決意する気持ち
- イ：しんせきの人に、弱いところを見せまいと強く思う気持ち
- ウ：もう死から逃れられないと、覚悟を決める気持ち
- エ：全ては戦争のせいだと、強く責める気持ち

問14 (第21段落・17行目)「母の着物はなくなりました」とあるが、母の着物は何と交換されたのか。本文の言葉を抜き出して、それぞれ6字以内で2つ答えなさい。

問15 (第26段落・10行目)「病名はありません。栄養失調です…。」から、「僕」のどんな気持ちが読み取れるか。最も適切なものを次の中から選びなさい。

- ア：病名もないような、栄養失調でなくなった弟を情けないと思う気持ち
- イ：食べ物さえあれば亡くなる必要はなかったと悔しく思う気持ち
- ウ：何かの病気だと思っていたのに、栄養失調だったことに驚いている気持ち
- エ：何かの病気でもないのに、亡くなってしまったことを不思議に思う気持ち

問16 (第28段落・13行目)「三人で山の村に向かって歩き続けました。」とあるが、「三人で」とは誰のことか。本文の言葉を抜き出して答えなさい。

問17 「三人」と書かれているところに、「僕」のどういう気持ちが読み取れるか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：ヒロユキが死んでしまったことが理解できない気持ち
- イ：ヒロユキが死んでしまったことを認めたくない気持ち
- ウ：ヒロユキが死んでしまっても、生きてるように接したい気持ち
- エ：ヒロユキが生きていれば、と願う気持ち



問18 (第29段落・17行目) 「道にも畑にも、人影はありませんでした。歩いているのは三人だけです。」とあるが、なぜ人影がなかったのか、理由と考えられるものが書かれている一文を本文から抜き出し、初めの10字を答えなさい。

問19 (第30段落・3行目) 「ヒロユキは幸せだった」と母は言ったが、どんなところが幸せだったのか、本文の言葉を使って30字以内で答えなさい。

問20 (第32段落・10行目) 母は、大きくなっていたんだね、と言い、初めて泣いたとあるが、その時の母の気持ちを適切に説明しているものを次の中から2つ選び○で囲みなさい。

ア：大きくなっていて自分に気がつかなかった自分を責める気持ち

イ：ろくに食べられない中、懸命に大きくなろうとしていたヒロユキが  
かわいそうに思う気持ち

ウ：ヒロユキがちゃんと成長していたことに安心した気持ち

エ：棺さえも、十分なものを用意してあげられないことが辛い気持ち

問21 母は、なぜそれまで泣かなかったのか。理由として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：ヒロユキは幸せなので、なにも悲しいことはなかったから

イ：自分がしっかりしなくてはいけないと思っていたから

ウ：ヒロユキの死を信じることができず、受け入れられなかったから

エ：ヒロユキをおぶって三里の道を歩き、疲れ果てていたから



問22 (第36段落・16行目(「僕はひもじかったことと、弟の死は一生忘れません。」とあるが、このことから筆者のどんな思いが読み取れるか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：ろくに甘いものも食べられず、弟も助けることができなかつた辛すぎる経験はとうてい忘れることができない。

イ：自分や弟のように、辛く悲しい経験をもう誰も味わうことがないよう、戦争などするべきではない。

ウ：弟の死は自分のせいであり、自分は一生その罪を背負っていかなければならない。

エ：弟の死とひきかえに、自分は生き延びることが出来たのかもしれない。弟の死を、忘れるべきではない。

問23 この作品で「ヒロユキ」は、なぜカタカナで書かれているのか、最も適切に説明しているものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：「僕」はまだ四年生だったので、ヒロユキに使われている難しい漢字がわからなかったから。

イ：「ヒロシマ」や「ナガサキ」が原爆を表すように、「ヒロユキ」とカタカナで表記することで、「戦争に巻き込まれて亡くなった子供」を象徴するようにしたから。

ウ：カタカナで書くことで、読み手に親しみをもって欲しかったから

エ：まだ小さいヒロユキのかわいらしさや、幼さを表現したかったから

問24 「僕」には、ヒロユキひとりしか弟がいなかったにもかかわらず、この作品の題名が「大人になれなかつた弟たちに…」となっている理由として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：ヒロユキが亡くなったあと、妹も戦争によって命を奪われてしまったから

イ：戦争の犠牲になったのはヒロユキだけではなく、たくさんの子供たちの命が奪われてしまったから

ウ：ヒロユキだけではなく、「僕」や「母」も辛い経験をしたから

エ：農家のおじさんのように、自分たちを助けてくれた優しい人にも感謝する気持ちを表したかったから



## 「大人になれなかった弟たちに…」定期テスト対策練習問題 (解答)

問1 (第1段落・1行目～第2段落・3行目)

「僕が小学校四年生のとき」「太平洋戦争の真っ最中」 ※順不同

問2 イ

【解説】「適切でないもの」を選ぶ問題なので注意しよう。

母は、「僕」や妹に食べさせて、自分はあまり食べないくらい、「子供たちに少しでもひもじい思いをさせたくない」と考えていることがわかる。なので、ヒロユキがあまり食べないことを平気と考えるようなイは適切ではない。

問3 (例) 食べ物が十分になかったから

【解説】(第6段落・2行目)「そのころは食べ物が十分になかったので、母は僕たちに食べさせて、自分はあまり食べませんでした」とあることから理由がわかる。理由を聞かれている問題なので、「…から」という形で答えられるようにしよう。

問4 ウ

【解説】「甘いものはぜんぜんなかったのです。あめもチョコレートもアイスクリームも、お菓子はなんにもないころなのです。」から、「僕」が甘いものにとっても強いあこがれをもっていることが読み取れる。

問5 ウ・エ

【解説】母は、本当なら「僕」や妹たちにも甘いものを食べさせてやりたいと思っている。しかし、ミルクはヒロユキが食べられる数少ない食べ物なので、なんとか我慢して欲しいと思っている。



問6 (第6段落・5行目) 「おもゆ」「やぎのミルク」 ※順不同

問7 ミルクを盗み飲みしてしまったこと

【解説】(第10段落・15行目)「ヒロユキの大切なミルクを盗み飲みしてしまいました。」の言葉を使う。「どんなこと」と聞かれているので、「…こと」という形で答えられるようにしよう。

問8 ウ・エ

【解説】「僕にはそれがどんなに悪いことか、よくわかっていたのです。」や「僕は弟がかわいくてかわいくてしかたがなかったのですが」から、「僕」はミルクを飲むことはとても悪いことで、とても申し訳なく思っていることが読み取れる。

問9 ウ

問10 引っ越しの相談のため

問11 ア

【解説】母の「強い顔」「悲しい悲しい顔」から、しんせきの人の冷たい言葉にがっかりして(悲しい顔)、自分が子供たちを守っていくと心を決めた(強い顔)ことが読み取れる。

問12 「強い顔」「悲しい顔」「美しい顔」 ※順不同

問13 ア

【解説】「僕たち子供を必死で守ってくれる母の顔」から、自分の力で子供を守ろうとしている母の思いを読み取ることができる。



問14 「米」「やぎのミルク」 ※順不同

【解説】前半に「やぎのミルク」という言葉が書かれている。

問15 イ

問16 「母」「僕」「ヒロユキ」 ※順不同

問17 ウ

問18 ブーンブーンとい

【解説】抜き出す一文は、「ブーンブーンというB29の独特のエンジンの音がして、青空にきらきらっと機体が美しく輝いています。」  
本文のはじめに書かれていたように、アメリカのB29が爆弾を落とすに  
来ていたので、人々は避難していたことが分かる。

問19 母と兄とお医者さん、看護婦さんにみとられて死んだこと

問20 イ・エ

問21 イ

【解説】母が自分の力で子供たちを守らなくてはならないと強い思いを持っていたことから考える。

問22 イ

【解説】題名が「大人になれなかった弟たちに…」となっているように、  
筆者が一番伝えたいことは、このような辛い思いをする子供たちがなくなる  
ようにという願いである。よって、「最も」適切なのはイとなる。



問 2 3 イ

問 2 4 イ

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。  
問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

